



やなぎっ子

今日から2学期

事件や事故もなく、今日、始業式の日を迎えることができ、子ども達の笑顔が学校に戻ってきてくれたこと、とてもうれしく思っています。ご家族の皆様、地域の皆様に見守られ、子ども達が有意義に夏休みを過ごすことができたこと、感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、2学期は、転入のお友達を一人迎え、児童数384名でのスタートとなりました。

2学期が始まるにあたり、2学期の目標を夏休み中に既に考えている子も多いでしょう。始業式の最中に考えた子もいるでしょう。また、教室で担任の先生と一緒に考える子もいるでしょう。いずれにせよ、具体的な目標を設定することが大事だと思います。そして、その目標を達成するために、どんなことにどのように取り組んでいくのか、これも具体的な取組をイメージできるか否かが鍵を握っているでしょう。さらに、考えた取組を進めていくためには、原動力である「やる気」が不可欠です。目標を設定した時には、子どもたちは「やる気」に満ち溢れていることでしょう。これを維持していくために、学校では主に担任が様々な手立てを講じています。これに加え、2学期もご家庭からのお力添えをいただければありがたいです。

子どもたちの「やる気」を支えるために、次のようなかかわりを意識していただけるとよいと思います。

○結果ではなく、頑張ったことや自分で考えて行動したことに対して褒めてあげる。

○最後まで自分で行わせ、成功体験を積ませる。

学校でもご家庭でも、子どもたちの「やる気」を引き出し、「やる気」を維持させる環境を作っていきたいと考えています。2学期もどうぞよろしく願いいたします。

ちなみに、私の夏休みと言いますと、今年はパリオリンピックにくぎ付けでした。選手一人ひとりから、元気や勇気をもらうことの多かった夏休みでした。

そして、今日から、パリパラリンピックが始まります。パリパラリンピックに出場する選手の中に、私が特に注目している選手がいます。その選手は、小学生の時、私が教頭として勤務していた学校に在籍していました。体を動かすことが大好きなお子さんで、小学校を卒業してからも、スポーツで活躍しているという話は、私の耳にも届いており、活躍を陰ながら応援してきました。困難なこともたくさんあったでしょうが、具体的な目標を設定し、「やる気」を維持して、練習を重ね、世界の舞台へと想いをつなげてきたのだと推察しています。テレビの画面を通じて、彼の活躍を見守りたいと思います。